

TE205 ボンネットセンサー(スターター用) 取扱説明書

この取扱説明書は、カーメイト ボンネットセンサーをご使用いただくためのガイドブックです。

特長

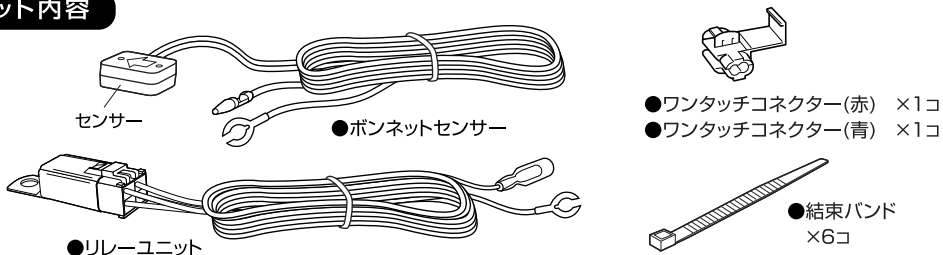
この製品(以下、本品と記す)は、カーメイト・エンジンスターターTEシリーズ(以下、本体と記す)に接続することで、整備時などボンネットが開いた状態で、エンジンスターターの動作を防止するセンサーです。

※対応可能機種は、車種別専用ハーネス適合表をご覧ください。

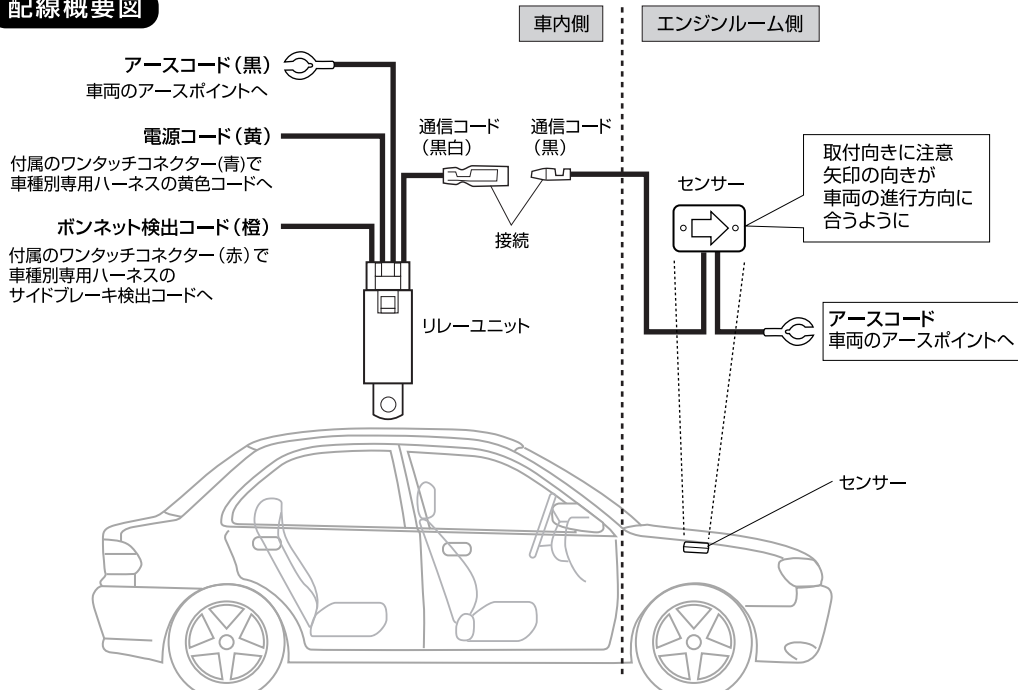
注意事項 必ずお読みください。

- 警告** 誤った配線は、車両火災や故障の原因となります。また、配線処理の際は噛み込み等が無いように注意してください。
- 警告** 取付後の余ったコードは、運転の妨げにならないよう結束バンドや絶縁テープなどで確実に固定してください。余ったままにしておくと、思わぬ事故の原因となります。

セット内容



配線概要図



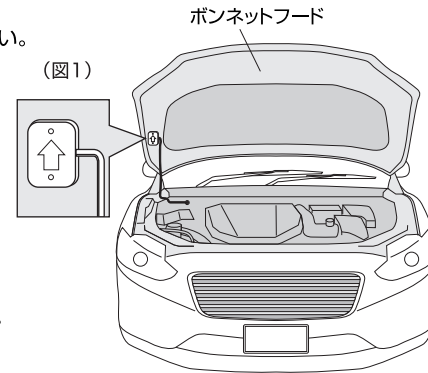
取付方法

リレーユニットの取付

- ①アースコード(黒)のクワ型端子を、車両の金属部分を固定している無塗装のボルトへ共締めします。
- ②電源コード(黄)を車種別専用ハーネスの黄色コードへ付属のワンタッチコネクタ(青)を使って接続します。
参考 プッシュスタート車専用モデルで、車種別専用ハーネスが無い場合は、フットブレーキハーネスの黄色コードへ接続してください。
- ③ボンネット検出コード(橙)を車種別専用ハーネスのサイドブレーキ検出コード(橙)へ、付属のワンタッチコネクタ(赤)を使って接続します。

ボンネットセンサーの取付

- ①ボンネットフードを開け、センサー部の取付位置を決め、取付ける場所の油やほこり等をよくふき取ります。
●本品の貼付には、30×25mmの平面かつ、高さ20mmのスペースが必要です。
●ボンネットヒンジ付近の、なるべく水平な面を選んでください。
●配線概要図を参照し、本品の配線が十分届く位置を選んでください。
注意 両面テープの貼り直しはできません。
- ②センサー部の矢印を車の進行方向と合わせ、センサー裏面のはく離紙をはがして貼付けます。(図1)
参考 貼付面の温度が低いと粘着テープが剥がれやすくなります。気温が15℃以下の環境で取付ける時は、接着面をドライヤーなどで約40℃(人肌程度)に加熱してください。また、貼付後は約20分程度は雨や水等で濡れないように注意してください。
- ③アースコード(黒)のクワ型端子を、車両の金属部分を固定している無塗装のボルトへ共締めします。
- ④通信コード(黒)を、車内へ引込み、リレーユニットへ接続します。
- ⑥車両の可動部分や運転の妨げにならないよう、余ったコードを付属の結束バンドで固定します。

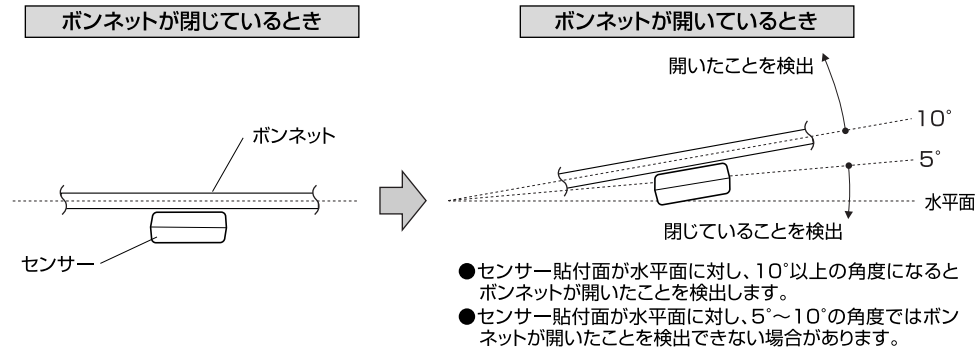


動作確認

- ①車両を水平な場所に駐車し、ボンネットを閉じた状態で、エンジンスターターのリモコンを使ってエンジンを始動します。
⇒問題なく、エンジンがかかることを確認してください。
- ②エンジンを一度停止した後、ボンネットを開けた状態で、エンジンスターターのリモコンを使ってエンジンを始動します。
⇒リモコンにエラー(液晶付のリモコンはエラー03)が表示され、エンジンがかからないことを確認してください。

本品の検出角度について

本品の検出角度は、水平面に対して10°以上です。



参考 ボンネット開閉の検出角度は、取付車両のボンネット角度や路面の傾斜などによって異なります。

仕様

■ボンネットセンサー

外形寸法	26×21×10(mm)
重量	約36g
コード長	アースコード 約95cm 通信コード 約145cm
使用温度範囲	-20℃~80℃

■リレーユニット

外形寸法	21×70×23(mm)
重量	約50g
コード長	ボンネット検出コード 19cm アースコード 約95cm 電源コード 49cm 通信コード 約95cm
使用温度範囲	-20℃~70℃